

パブリックコメント実施結果・区の方

パブリックコメント実施概要

- 意見募集期間：令和 6 年 12 月 1 日（日）～令和 6 年 12 月 27 日（金）
- 閱 覧 場 所：品川区役所総合庁舎（保健予防課、区政資料コーナー）、
区内各地域センター（13 か所）、区内各図書館（12 か所）、
区内各保健センター（3 か所）、区ホームページ
- 提 出 人 数：2 人（内訳：郵送 0 人・FAX 0 人・持参 0 人・その他 2 人）
- 意 見 数：2 件

ご意見	区の方
1. 数値目標の具体化について	
様々な年代や対象別の相談窓口認知度も参考にする、取り組みがより評価され、よいかと思いました。	数値目標につきましては、国の「自殺総合対策大綱」並びに東京都の「東京都自殺総合対策計画（第 2 次）」における目標値を参考としています。ご意見いただきました相談窓口認知度を取り組みの評価指標とすることにつきましては、今後の参考とさせていただきます。
2. ヤングケアラーへの支援について	
ヤングケアラーに関する研究では、特に 14 歳から 16 歳の間にケアラー状態が継続している場合、自傷行為や希死念慮のリスクが高まることが明らかになっています（東京都医学総合研究所「Investigating the differential impact of short- and long-term informal caregiving on mental health across adolescence: Data from the Tokyo Teen Cohort」（2024））。また、子ども時代にケアをしながら生活を送ったとしても、成人後において生きづらさや就労への影響が大きく、精神的健康の悪化や社会的孤立を経験する若者ケアラーも少なくありませ	ヤングケアラー支援につきましては、自殺対策の観点からも重要であると認識しています。ヤングケアラーの状態に早い段階で気づき支援をすることで、自傷行為や希死念慮のリスクを低減できるよう今後も取り組みを進めてまいります。 また、ヤングケアラーについて広く周知することで、ヤングケアラーのさらなる理解や支援に繋がると考え、今回 74 ページにヤングケアラー支援事業についてのコラムを掲載いたしました。 ヤングケアラーの取り組みにつきましても、本計画の 51 ページならびに 72 ページに「ヤングケアラー支援事業」として

ん。 こうした背景から、ヤングケアラーたちが子ども・若者時代に「何かあったとしても周囲の大人や社会が支えてくれる」と感じられる社会づくりが重要です。それは、問題が深刻化してから支援を行うのではなく、「大変になる前から予防的に関わる」大人や地域づくりを進めることで実現できます。 心の健康づくりや自殺リスク低減の取り組みにおいては、教育、福祉、地域の各ネットワークづくりを含め、各関係機関の連携を強化・推進することを加えていただきたいと思います。 子ども・若者の自殺対策の更なる推進の中にヤングケアラー支援を加えていただきたいと思います。 ヤングケアラー支援を盛り込むことで、ヤングケアラーたちの負担を軽減し、未来を支える社会を築く一助となることを願います。	掲載しています。
---	-----------------